

7月30日(水)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほほ

日刊サマーミュージザ



Hobo Nikkan Summer Muza

秋山和慶のサマーミュージザへの置き土産



7/29 洗足学園音楽大学

増田雄介

洗足学園音大のバレエが キンボー・イシイ指揮で 新たな輝きを放った!

洗足学園音楽大学はミューザ川崎シンフォニーホールにオープニング(2004年)以来チーフ・ホールアドバイザーとして関わったマエストロ、秋山和慶が長く芸術監督・特別教授を務めた。洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団とバレエコースの学生のコラボレーションをフェスタサマーミュージザ看板公演の1つに育てたのも秋山だった。

今夜は2025年1月26日に亡くなった秋山の遺志を継ぎ、劇場の経験豊かなキンボー・イシイが指揮を担い、オーケストラから自発性を最大限に引き出した。10型(第1ヴァイオリン10人)の弦楽器はシルクのように艶やかな美しさを保ち、木管のソロは巧み、金管はパワフル、打楽器もシャープと申し分ない。

ボロディンの「歌劇『イーゴリ公』から『だったん人の踊り』」(振付=安達悦子、小林洋彦)ではエキゾチックな衣装が目をつけた。バレエは「もっと野趣があっていい」とも思ったが、フィナーレにかけてオーケストラの推進力に乗ってゴージャスな盛り上がりを見せた。物集女純子教授を独奏者とするプロコフィエフ「ヴァイオリン協奏曲第1番」は山本康介がサン＝テグジュペリの「星の王子さま」の「大切なも

のは目に見えない」を出発点に、秋山へのオマージュとして振り付けた。ダンサーたちは飛行士の沖田貴士(教員)、星の王子さまの佐藤可惟(学部1年)を軸に、確かな演技力を発揮した。



増田雄介

増田雄介

後半、ラヴェルの「組曲『マ・メール・ロワ』」は全員総出のグランドバレエ(振付=日原永美子)。クラシックで繊細な感触を基調としつつも、終曲「妖精の園」では若いエネルギーが爆発。アンコールの《花のワルツ》(チャイコフスキー)まで見事に決めた。

(池田卓夫 音楽ジャーナリスト@いけたく本舗®)



増田雄介

指揮：キンボー・イシイ ヴァイオリン：物集女純子

ご来場者の声

前から2列目で見ました。息づかいや衣がすれる音、汗。常に笑顔で動いている姿は素敵でした。毎年このバレエを見ますが、いつも見ても感嘆、すごい一言です。オーケストラもすてきです!(60代・会社員・しー娘) / 音楽も素晴らしいのだが、やはり躍りにひき込まれる。躍りに目をひかれつつ、ヴァイオリンの音色の響きが美しい!(匿名) / 本当に学生のオーケストラ? 大好きな「だったん人」「マ・メール・ロワ」がバレエで見たのもよかった。星の王子様、初めて見ましたが素敵でした。王子さま演じた人、本当に学生なのですか。すごい。(60代・教員・くーちゃん) / クオリティの高いパフォーマンスありがとうございました。(20代・大学生) / 秋山先生がお亡くなりになっての今回の演奏、とくに感慨深いものがありました。今回はとても素敵なプログラムで、オーケストラ・バレエもとても素敵でした。来年も楽しみにしております。(70代・ナポレオン・ソロ) / だったん人の踊りは前田ホールでの演奏を時折 Youtube で鑑賞するが、踊りは初めてで強いインパクトを感じた。bravo! アンコールで花のワルツをきけるとは何とラッキー。デザートにバスクチーズケーキが思いも寄らず出てきたような感動。(70代・会社員・ルーザ) / 普通のバレエ公演やコンサートと違って、音楽もバレエも主役で、その相互作用を感じることができ、とても良かったです(60代・会社員)

フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 25 明日の公演情報

読売日本交響楽団

華麗なるウィーン、黄金の響き

7/31 (木) 19:00開演 (プレトーク18:20~)

指揮：小林資典

ピアノ：菊池洋子 *

- J. シュトラウス 2 世：喜歌劇『こうもり』序曲
- モーツァルト：ピアノ協奏曲第 20 番 *
- J. シュトラウス 2 世：ワルツ『南国のバラ』
- R. シュトラウス：歌劇『ばらの騎士』組曲

S 席 6,000円 A 席 5,000円
B 席 4,000円 U25 各席種半額

TEL・WEB 予約 当日 17:00まで
当日券カウンター 18:00より

小林資典 (指揮)



©Gerardo Garciccano

菊池洋子 (ピアノ)



©Yuji Hori

夏にや祭り。祭りにもミュージザを。



当日券あり



雄大に広がる「田園」の静寂、生命が躍動し狂喜乱舞する「春の祭典」

10月12日公演の名曲全集211回は、ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」とストラヴィンスキーの「春の祭典」という、オーケストラ編成としては対極にあるような2曲を取り上げます。「田園」は、2管編成のいわゆるスタンダードな編成による無駄の無い美しい響きが特徴です。

一方「春の祭典」は、5管編成という巨大なオーケストラ編成。なかでも濃厚な金管群と打楽器群が生み出すサウンドのパワーは圧倒的です。そして、指揮のスザンナ・マルッキはすでにベル

リンフィルデビューも果たした次世代のスター指揮者です。近年、才能あふれる指揮者を数多く輩出している北欧出身の彼女と東響の化学反応にも期待が高まります！

(事業企画課・SG)



スザンナ・マルッキ

©Jiyang Chen

ミュージザのち薦め



公演の詳細はこちらから↑

ミュージザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集第211回

2025.10.12(日) 14:00開演

指揮：スザンナ・マルッキ ベートーヴェン：交響曲 第6番「田園」
管弦楽：東京交響楽団 ストラヴィンスキー：バレエ音楽「春の祭典」

S¥6,500/A¥5,500/B¥4,500/C¥3,500 25歳以下当日券¥1,000



コンサートと一緒にもうひとつのお楽しみ!

PARTNER SHOP

↑サービス対象店舗はこのPOPが目印！
優待チラシは7/26～8/11まで何度でも利用可能
公演がない日でももちろんOK!

チケット窓口ご利用の皆様へ

サマーミュージザ期間(7/26～8/11)は、チケットの引取りで4Fチケットカウンターが大変混雑します。そのため、**公演日の開場時間～開演時間、4Fチケットカウンターはご予約済チケットの引取りのみとさせていただきます、チケット販売を一時休止**します。

※当日券は当日券カウンターにてご購入可能(完売公演を除く)です。
※電話予約・Webチケットは、通常通りご利用いただけます。

ご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、4Fチケットカウンターの混雑緩和に何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。



パートナーショップのご紹介

エンジョイ! 川崎!!

Enjoy Kawasaki



コスパ最強中華、ビュッフェ付で999円!

西口通の銘店・シノワ大久保さん! ミューザ内でかねてより噂になっていた、コスパ最強中華ランチをご紹介します。メインは4種類から選べ、お代わり自由のビュッフェ付き。フェスタサマーミュージザ期間中は優待チラシ提示でソフトドリンク1杯サービス!

今日は海老のチリソースをセレクトしました。ぷりぷりの海老が口の中で踊ります。ビュッフェではサラダ、肉団子、コロケ、ザーサイ、カボチャ煮付け、ミニ蒸しパン、ご飯、カレー、コーンスープが好きなら食べられます。お味

は上品で好感度大です。お一人で入店も大丈夫ですし、ご家族や仲間とのお食事にも楽しい時間と空間が作れるでしょう! 皆さま是非優待チラシを持参してお立ち寄りください!

(広報営業課・ぼうかー)



海老のチリソースランチ (税込み999円)

ランチで食べ放題なサラダ、スープ、カレー、ミニケーキほか↓(写真にはありませんが杏仁豆腐も)



中国菜館シノワ大久保

M 川崎駅西口周辺

パートナーショップ特典

ソフトドリンクサービス (オレンジジュースまたはリンゴジュース)

※「優待チラシ」持参および同伴者 ※営業時間内は終日可

フェスタサマーミュージザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージザ
で検索&投稿
お待ちしております!



X: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki
YouTube: @kawasakisymhall

今年も皆様も慣れ親しんでくださったであろう、夏をエンジョイする作曲家たちのイラストとお別れは寂しいですが、私たちのいる(笑)新たなビジュアルも気に入っていただけたら嬉しいですよ!
今年も皆様も慣れ親しんでくださったであろう、夏をエンジョイする作曲家たちのイラストとお別れは寂しいですが、私たちのいる(笑)新たなビジュアルも気に入っていただけたら嬉しいですよ!
今年も皆様も慣れ親しんでくださったであろう、夏をエンジョイする作曲家たちのイラストとお別れは寂しいですが、私たちのいる(笑)新たなビジュアルも気に入っていただけたら嬉しいですよ!

(アルバイト・絵の中の二人)

スタッフ日誌

お気づきの方も多いかと思いますが、今年のサマーミュージザは5年ぶりにメインビジュアルが変わりました! 西洋のクラシック音楽と日本の浮世絵とのコラボレーション、とても素敵ですね。そんな新しいビジュアルに関してミュージザスタッフ内で話題になっているのが、イラストの女性たちがアルバイト勤務の2人に似ているということ。本日のスタッフ日誌は、そんな2人でお届けしています♡